

Syrius Technology

ロボットを、すべての現場へ



シリウスジャパン株式会社

本社

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町二丁目12番10号

デモセンター

〒135-0044

東京都江東区越中島二丁目1番地38号



03-6240-3056



見学予約

sales@syriusrobotics.co.jp

www.syriusrobotics.co.jp

Syrius Technology

スマート倉庫のソリューションに新革命

少ない投資で 大きなアップグレードを



ロボットを、すべての現場へ

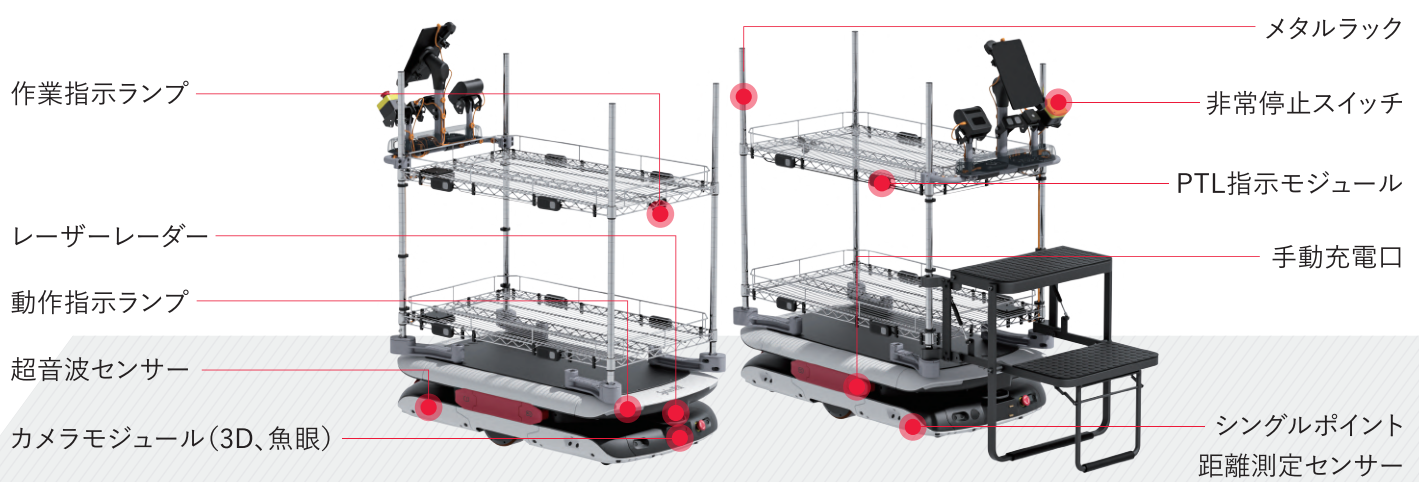
AMRハードウェア仕様

AMR(Autonomous Mobile Robot)自律走行型ロボット

FlexSwift MAX



FlexPorter Go



仕様	FlexSwift MAX	FlexPorter Go	FlexPorter Do リフト付き
積載量	100 kg	600 kg (棚は100 kg / 段、最大3段)	1000 kg
本体重量	84 kg	230 kg	230 kg
サイズ	長さ703 X 幅594 X 高さ1775 mm	長さ1350 X 幅650 X 高さ1535 mm (標準2段棚)	長さ1200 X 幅650 X 高さ260 mm
最小通路幅	900 mm	1000 mm	1000 mm
積載可能面積	トレイによる	1060 X 609 mm (標準2段棚)	750 X 516 mm
最大走行速度	2 m / s	1.5 m / s	1.5 m / s
最大傾斜	5°	5°	5°
稼働時間	8 h (最大積載量の半分の場合)	8 h (最大積載量の半分の場合)	8 h (最大積載量の半分の場合)
充電時間	3.5 h	1.5 h	1.5 h
充電方式	手動	自動と手動両方	自動と手動両方
停止精度	± 30 mm	± 50 mm	± 10 mm
安全装置	上1個非常停止スイッチ 中央1個非常停止スイッチ	上1個非常停止スイッチ 下2個非常停止スイッチ	下2個非常停止スイッチ
ヒューマンマシン インターフェース	タブレット / スキャナー 音声指示 / ランプ点灯	タブレット / スキャナー 音声指示 / ランプ点灯	タブレット / スキャナー 音声指示 / ランプ点灯
通信方式	Wi-Fi	Wi-Fi	Wi-Fi

特徴

既存倉庫に
そのまま導入可

箱から出したら
すぐ使える

働き方改革
協働で効率アップ

物流波動に
柔軟対応

安全性と
信頼性

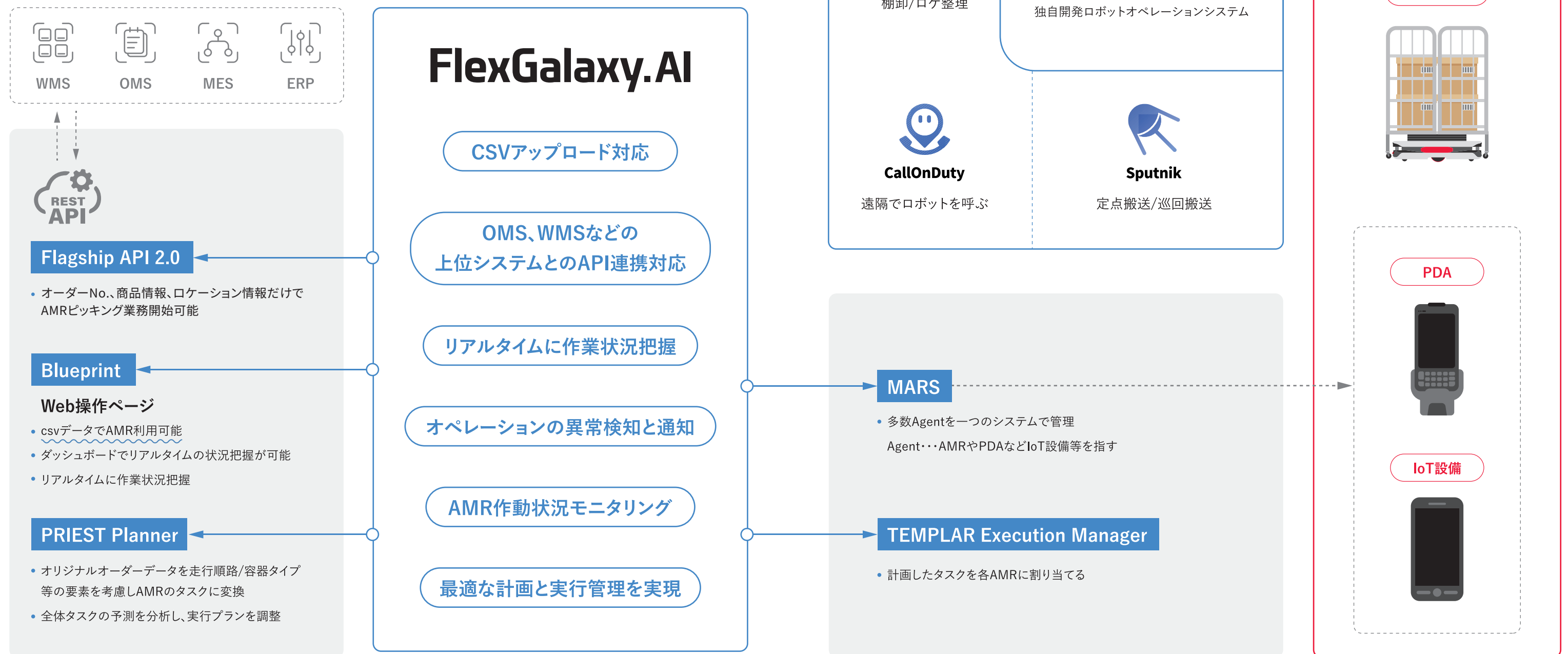
バッテリー交換式
連続稼働対応

FlexGalaxy.AI 群知能プラットフォーム とAMR本体ソフトウェア

FlexGalaxy.AI は自社開発したロボットマネジメント、業務タスクマネジメント等の機能を含めたAIoTシステム。

API経由で現在利用しているWMS / OMS / MES / ERP等の上位システムの指示をAMRのタスクに変換し、より効率よい実行プランをAIが作成。

AMR本体に搭載した業務実行ソフトウェアはピッキング、入荷格納、定点搬送等の業務を一台のAMRで使い分けが可能。



ピッキング業務

- Robot to Personのピッキング方式——人はZone担当、ロボットが次々とZoneに来る。作業員歩行時間削減。
- ロボットタッチパネルに分かりやすいピッキングタスクを表示。
- FlexGalaxy.AIで分析し、走行ルート、商品サイズ情報などの要素を考慮し、最適の組み合わせでタスクを作成。常に効率や作業の生産性を向上。



01

- ロボットがタスクを受ける。
- タスクの内容により、該当容器をロボットのタッチパネルで表示
- 作業員は容器コードをロボットのスキャナーでスキャンし、タスクと容器を紐づける

02

- ロボットは最適のルートを自律走行し、ピッキングが必要な商品のロケーションで待機する
- 商品の画像、コード、ロケーション、点数等をタッチパネルで表示
- 作業員は商品をスキャンし、ロボットのタッチパネルに表示された容器の開口に投入
- ロボットは次のピッキングが必要な商品のロケーションに移動、作業員は別のピッキング待ちのロボットを発見

03

- ピッキング完了後、ロボットは検品/梱包エリアに到着
- 作業員は容器をロボットから外しピッキングを完了させる、ロボットは次のピッキング指示を受け取る
- 作業員は容器コードをスキャンし、納品書/送り状がプリントされる

従来の倉庫



• 人手不足

少子高齢化による人手不足の深刻化

• 効率が悪い

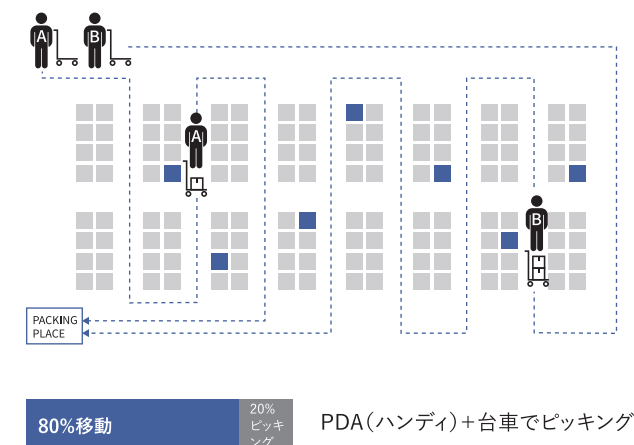
フルフィルメントにおける顧客の期待を満たせない

• ミスの発生率が高い

属人作業ではミスが起きやすい

• 柔軟性が低い

物量波動にフレキシブルな対応ができない



AMR導入後の倉庫



• 現場作業員を半減

人とロボットの協働作業によって人手不足を解消

• 効率化

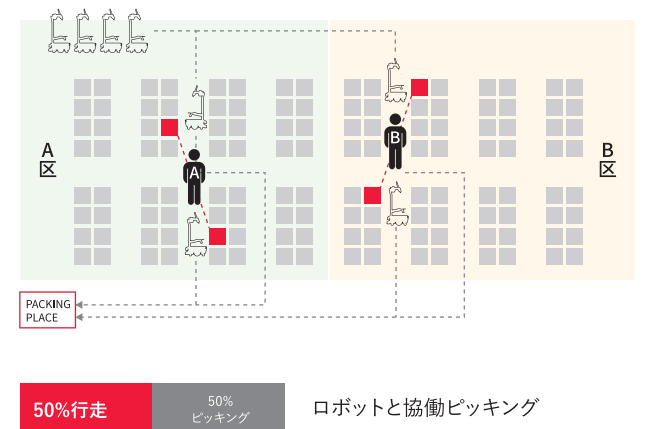
ロボットの導入で、作業員はピッキング作業に集中できる

• 異なる業務プロセスに適用

多様な容器を利用し、トータルピッキングもオーダーピッキングも対応可能

• スピーディな導入

大幅な倉庫改造不要、現場作業の中断も不要



導入メリット

現場作業員を半減

人対ロボットの比率：
1:1.5～1:3.5

作業員教育時間を削減

スマホアプリのような使いやすさで、
新人でもすぐに使いこなせる

作業員歩行距離が60%-80%短縮

無駄な移動を削減し、
人を楽にする

Robotics as a Service (ロボティクス・アズ・ア・サービス)

初期費用ゼロ、導入、保守含め、
すべて月額料金でカバー

導入しやすい



AMRが走行する物流現場を最短2日~で立上げ。
必要最小限のコストと労力で効果測定が可能！

- 難しい作業は必要なし!!

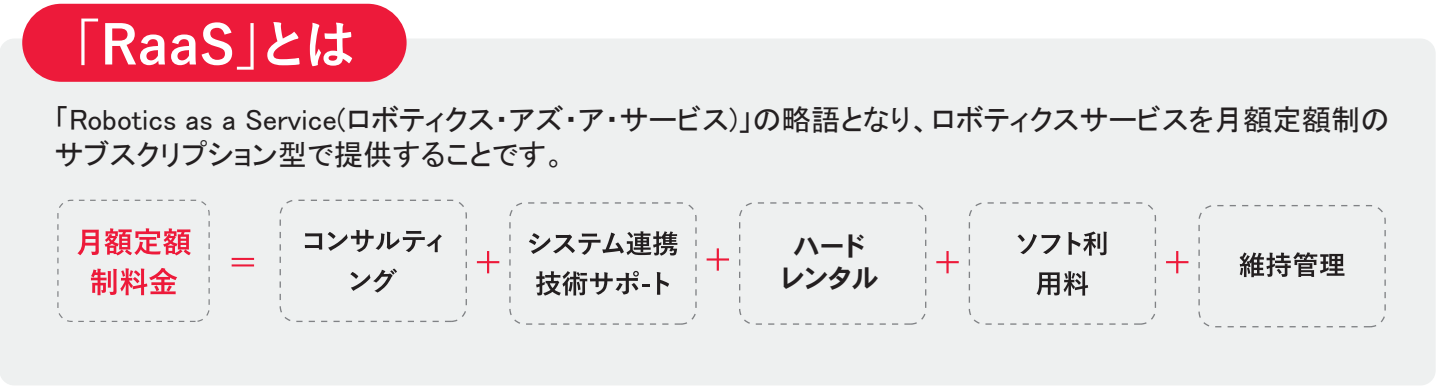
事前のCADデータ等は必要なし。ロボットに搭載のマップ作成アプリで簡単に作成。修正・追加にもすぐに対応。
- 面倒なシステム連携は不要!!

CSVを活用し、事前のシステム連携構築は不要。効果測定後のシステム構築が検討可能。
- 既存の倉庫通信環境でOK!!

事前の専用通信回線は不要。ポケットWi-Fiや倉庫でお使いの通信環境もご利用可能。

RaaS

多種多様なAMRを初期費用無料の「RaaS」で。いつまでも変わらぬ価値を御提供。



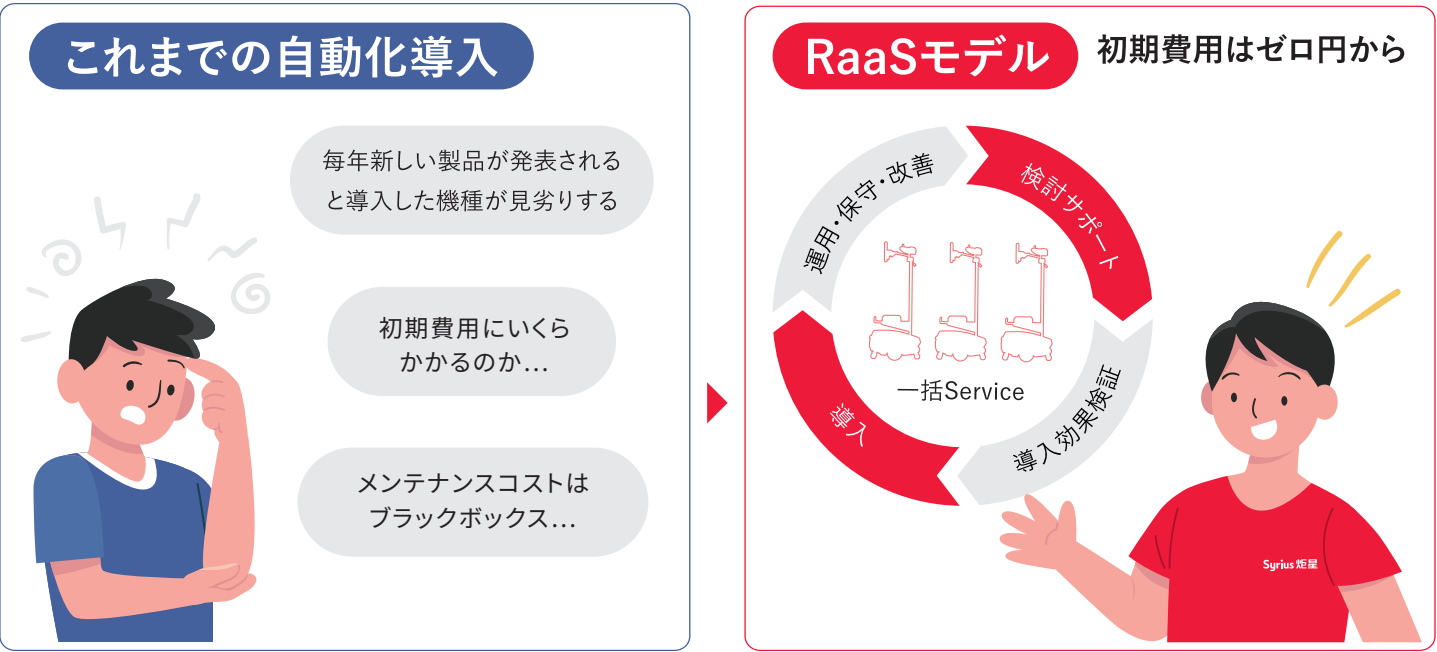
- 契約最低1年・実証実験費用返還

契約後3ヵ月以内、台数調整可能

繁忙期臨時台数増加に対応
- 6ヵ月に1回Layout変更無償対応

予備機常時現場に配置

作業効率をSLAにて約束する
- ※SLA:Service Level Agreement:サービスレベル契約



RaaS料金体制 (対象機種:FlexSwfit MAX)

月額料金/台	15台以上	15台	14台	13台	12台	11台	10台	9台	8台	7台	6台
12ヵ月	96,000円	98,400円	100,800円	103,200円	105,600円	108,000円	110,400円	112,800円	115,200円	117,600円	120,000円
18ヵ月	88,000円	90,200円	92,400円	94,600円	96,800円	99,000円	101,200円	103,400円	105,600円	107,800円	110,000円
24ヵ月	80,000円	82,000円	84,000円	86,000円	88,000円	90,000円	92,000円	94,000円	96,000円	98,000円	100,000円
36ヵ月	76,000円	77,900円	79,800円	81,700円	83,600円	85,500円	87,400円	89,300円	91,200円	93,100円	95,000円
48ヵ月	72,000円	73,800円	75,600円	77,400円	79,200円	81,000円	82,800円	84,600円	86,400円	88,200円	90,000円
60ヵ月	68,000円	69,700円	71,400円	73,100円	74,800円	76,500円	78,200円	79,900円	81,600円	83,300円	85,000円

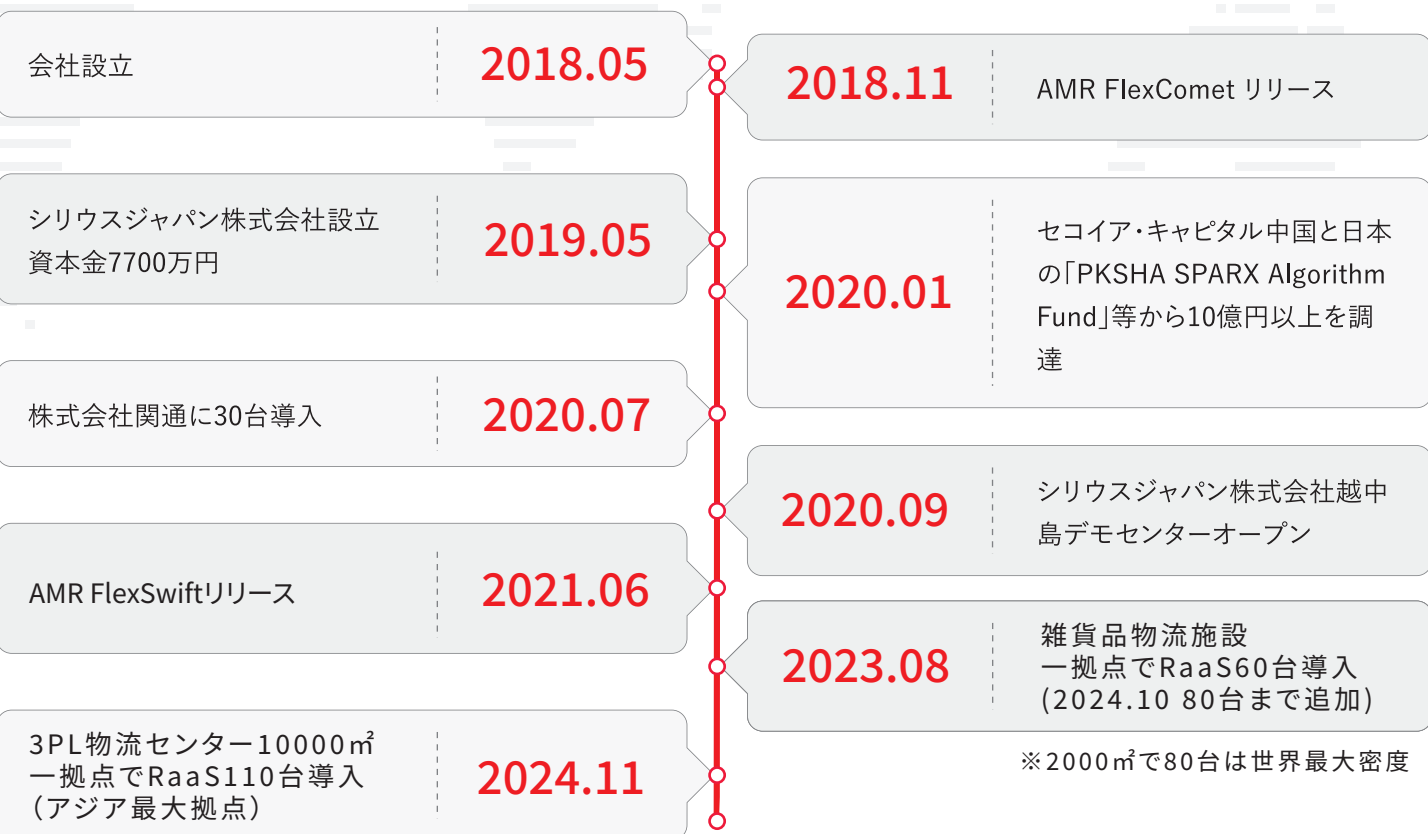
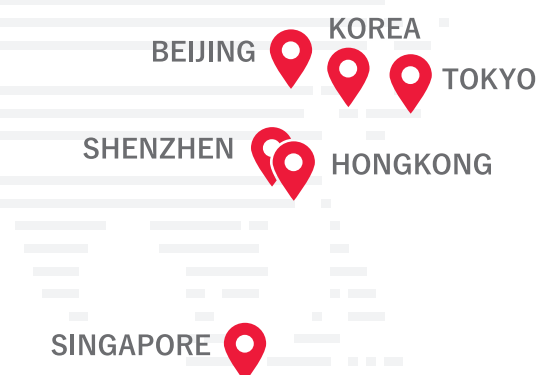
※上記あくまで参考価格となります。具体的な価格につきましてはお見積りご回答となります。

会社概要

設立:2018年5月

拠点:北京、深セン、東京、シンガポール

社員:220人(2023年8月31日現在、連結)



コア技術

ソフトウェア

特許は **185** 件申請**155**件権利化



ロボット本体ソフトウェア
megacosmOS (オペレーションシステム)

自社独自開発、オープンソースは使わず、
システムの安定性、拡張性が確保



ロボットマネジメントシステム
FlexGalaxy.AI

WMSやMESと連携し、指示を管理するシステム。
ロボット自身の行動はエッジコンピューティング技術を使用し、専用の高速ネットワーク環境を必要とせず、導入時のインフラ投資を大幅に削減。

ハードウェア

特許は **192** 件申請 **123** 件権利化



自社設計、開発、製造、テスト

始まったばかりのロボット生産サプライチェーンを自社で探っていき、安定性、一致性、コスト削減に力を尽くす。



少機種多オプション

様々の業務に対応するためにはAMR機種を増やすのではなく、トレイ/台車/棚多数のハードウェアオプションを開発。

自社製造拠点

全て自社設計・開発・製造の一貫体制、AMRを創った者がAMRをつくり、日々生産プロセスを改善。

2024年 中国安徽省で年間5万台の生産能力をもつAMR製造拠点で稼働が開始。

生産の他にも研究開発機能を備え、OEM/ODM開発製造体制も備えた拠点。

